



給食だより 3月号

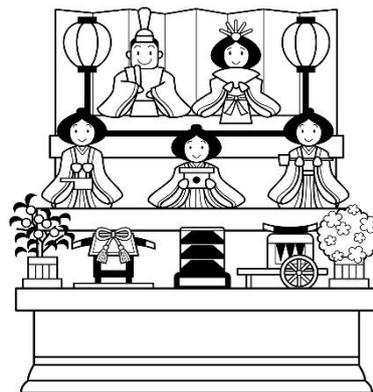
令和5年3月

和歌山盲学校

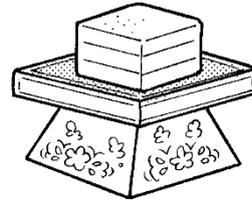
もうすぐ桜のつぼみがほころぶ季節になりました。ご卒業を迎えるみなさん、おめでとうございます。さて、みなさんの思い出に残っている給食は何ですか？ 「食べる」ことはみなさんの元気につながります。給食で学んだ食べることの大切さや楽しさを忘れないでください。



3月3日は桃の節句ともいい、もとは中国から伝わった上巳の行事（災いなどをはらうために、人形に酒や食べ物を供えて水に流す神事）と日本のひいな遊び（公家の間で行われていた）が合わさったものといわれています。災いなどをはらうために、人形を海や川に流したり、はまぐりのうしお汁やひしもちなどを食べたりします。また、古代の中国では、桃は邪気をはらう神聖な木ともいわれていて、桃の花を浮かべる桃花酒なども飲まれていました。給食では3日（金）に「ひなあられ」が出ます。お楽しみに。

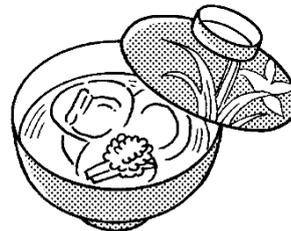


ひしもち



ひしもちは、桃の節句で供えるひし形のもちのことです。ひしもちの色や色の並び順は、地域や家庭によって違う場合がありますが、おもに上から赤、白、緑のもちを重ねたものが多く見られます。緑のもちは、生命力の強いよもぎの新芽をつんで使用することで、厄をはらう力があるとされています。

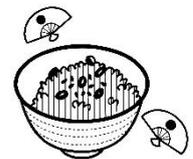
うしお汁



はまぐりのうしお汁は、桃の節句の行事食です。はまぐりは、対になっている貝以外とは決して合いません。そのことから、夫婦の仲のよさをあらわすとされています。また、磯遊び(海辺や河原に集まり、草もちや貝料理を食べること)の時期に重なったことから料理に使われたともいわれています。



おめでたい日の赤飯



もち米と小豆やささげなどを蒸した赤飯は、お祝いの席などでよく食べられています。これは、赤い色には邪気をはらうという意味があるからです。もともとは、凶事の時に赤飯を用いていましたが、「凶をかえして福にする」という縁起直しから慶事に食べられるようになったといわれています。

給食では、卒業お祝い献立として6日(月)に「赤飯」がでます。